

製図一般	001	図面が読めると図面が描ける [1] 写図で覚えるコマンドの使い方	1/2
------	-----	-------------------------------------	-----

[1] 写図 [模写] で覚えるコマンドの使い方

コマンドリファレンスでオブジェクトを作成する操作方法を覚えただけでは、図面を描くことはできません。

例えば、線分の作成コマンドで線分を描く

円の作成コマンドで円オブジェクトを描いて、コマンドの使い方を覚えたとしても、

そこで終わりますから次につながる操作がありません。

コマンドの使い方を覚える方法として写図（模写）による方法があります。

写図とは、構造物などの図面を参考図面として、そっくり模写することです。

写図（模写）の参考図は、文字情報と図記号で構成されている実図面です。

- 1.製図規約 [JIS] を理解して描く
- 2.正確に描く
- 3.簡潔明瞭に描く
- 4.写図が終了したら、誤りを調べる。
- 5.印刷をする
- 6.再度 誤りを調べる。
- 7.三角スケールで尺度を確認する。



当教室で採用している、写図（模写）の参考図は、

A3、A4版 S=1:1~S=1:100

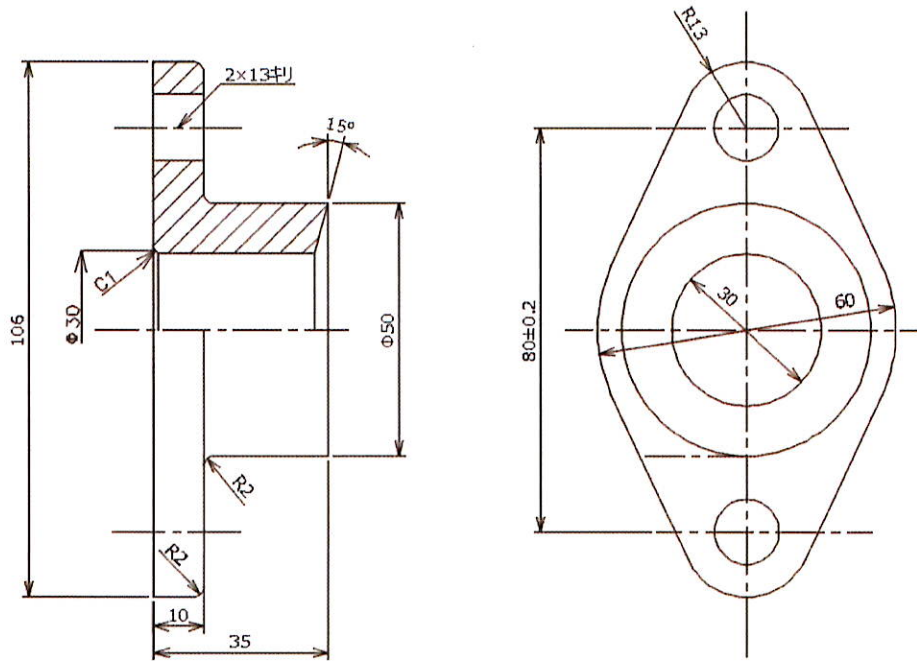
- 建築関係：集合住宅 1室 [平面図] を模写する。
- 土木関係：歩車道境界ブロック ・ふた付U形側溝工 ・ボックスカルバート一般図
- 機械関係：部品図（・軸受け ・プレート ・フランジ…）
- 鋼材 : ・等辺山形鋼 ・溝形鋼 ・平行フランジ形鋼 ・I形鋼・ H形鋼
形状寸法 断面寸法を参考値として作図する。
- ・用紙サイズ ・尺度の選択 は講師のアドバイスで受講生が決定しています。



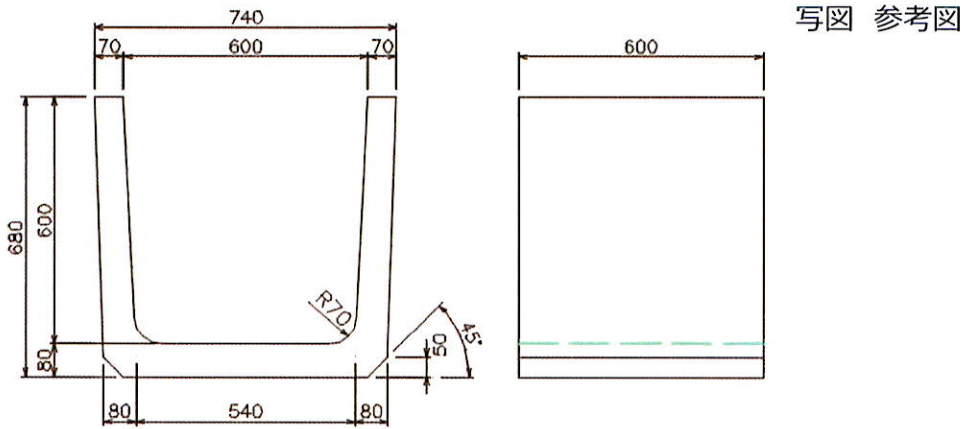
全134種データ

写図は、作図・修正・編集・印刷までの工程を経て、CAD作図方法を習得します。

・参考図ごとに、写図 ⇨ 誤り訂正 ⇨ 印刷 ⇨ 尺度確認 作業を実施します。



写図 参考図



写図 参考図

写図 参考図

H形鋼

呼称寸法	標準断面寸法				
	H	B	t1	t2	r
250×175	244	175	7	11	13
900×300	900	300	16	28	18

H形鋼

